

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 無細胞くん 膜タンパク質合成用添加剤 SetA  
製品名 : 無細胞くん 膜タンパク質合成用添加剤 SetA (添加剤 M1、添加剤 M2)  
※安定同位元素で標識された化合物は、標識核種及び位置により製品名称が異なりますが、安全性データは非標識化合物と同一とみなします。従って、特に指定しない限り本シートに記載されているデータは、非標識化合物のデータを採用しています。

会社名 : 大陽日酸株式会社  
住所 : 〒142-8558 東京都品川区小山 1-3-26  
担当部門 : SI 事業部  
連絡先 : Tel; 03-5439-5898  
緊急連絡先 : SI 事業部 (電話番号 03-5439-5898)

整理番号 : TNI00921-1  
作成日 : 2019年11月01日 改訂日 : 2023年08月17日

## 2. 危険有害性の要約

・添加剤 M1

GHS分類 : 急性毒性 (経口) 区分3  
急性毒性 (経皮) 区分3  
急性毒性-吸入 (粉じん/ミスト) 区分3  
記載がないものは分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : H301 飲み込むと有毒  
H311 皮膚に接触すると有毒  
H311 吸入すると有毒

注意書き [安全対策] : P280 保護手袋、保護委、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
P264 取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。  
P261 粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フェーム、スプレーの吸引を避けること。

[応急措置] : P271 屋外もしくは、よく換気された場所でのみ使用すること。  
P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水と洗剤で洗浄すること。  
P304+P340 吸入した場合:新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸が楽な姿勢で休憩させること。  
P312 体調がすぐれない場合:毒物管理センター、医師に連絡すること。

[保管] : なし

[廃棄] : P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄する。

GHS分類に該当しない : なし

他の危険有害性

・添加剤 M2

GHS分類 : 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1  
記載がないものは分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : H318 重篤な眼の損傷

注意書き [安全対策] : P280 保護手袋、保護委、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
[応急措置] : P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。  
[保管] : なし  
[廃棄] : P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄する。

GHS 分類に該当しない : なし  
他の危険有害性

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

構成試薬	添加剤 M1		添加剤 M2	
化学名	L- $\alpha$ -Phosphatidylcholine	Digitonin	L- $\alpha$ -Phosphatidylcholine	$\alpha$ -Octadecyl- $\omega$ -hydroxy-poly(oxy-1,2-ethanediyl)
含有量%	6.7	10	6.7	10
化学式	C <sub>43</sub> H <sub>83</sub> N <sub>0</sub> 8P	C <sub>56</sub> H <sub>92</sub> O <sub>29</sub>	C <sub>43</sub> H <sub>83</sub> N <sub>0</sub> 8P	(C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O) <sub>n</sub> C <sub>18</sub> H <sub>38</sub> O
分子量	773	1229.33	773	—
官報公示整理番号	—	—	—	—
毒劇取締法	対象外	対象外	対象外	対象外
PRTR法	対象外	対象外	対象外	対象外
CAS No.	97281-44-2	11024-24-1	97281-44-2	9005-00-9

### 4. 応急措置

一般的アドバイス : この安全データシートを担当医に見せる。  
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合 : すぐに石鹼と多量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。  
眼に入った場合 : 数分間気を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師

2023年08月17日

TNI00921-1 無細胞くん 膜タンパク質合成用添加剤 SetA  
 の手当てを受ける。

- 飲み込んだ場合** : 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合は無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤**  
**適切な消火剤** : 水、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)、粉末消火剤等  
**使ってはならない消火剤** : データなし  
**特有の危険有害性** : データなし  
**消防士へのアドバイス** : 周辺火災の場合、容器を安全な場所に移動する。移動が不可能な場合、容器の周辺を水で冷却する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置** : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。  
**環境に対する注意事項** : 漏出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。  
**封じ込め及び浄化の方法及び機材** : 飛散したものを掃き集めて、密閉できるから容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意** : 添加剤 M1 は、強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を設置し、エアゾルが発生しないよう局所排気、または全体換気を行う。個人用保護具を着用すること。  
**保管上の注意** : -20±2°Cで冷凍保存する。  
**混触禁止物質** : 強酸化剤 (添加剤 M1)

## 8. ばく露防止及び保護措置

**管理濃度** : 許容濃度が設定されている物質を含有していない。

**適切な技術的管理** : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

- 保護具**  
**眼/顔面の保護** : 安全ゴーグル  
**皮膚及び身体の保護具** : ゴム製又は不浸透性の靴、ゴム製又は不浸透性保護衣  
**手の保護具** : 耐薬品性の手袋  
**呼吸用保護具** : 防塵マスク

## 9. 物理的及び化学的性質

化学名	L- $\alpha$ -Phosphatidylcholine	Digitonin	$\alpha$ -Octadecyl- $\omega$ -hydroxy-poly(oxy-1,2-ethanediyl)
外観等	黄色～白色の粉末	白色の結晶 <sup>^</sup> 粉末または塊	白色の個体 (ワックス状)
沸点	>200°C	—	—
融点	—	230-240°C	44-46°C

比重	—	—	0.964 gPcm3
溶解度	エタノール、メタノール：よく溶ける。クロロホルム：溶けやすい。水：ほとんど溶けない。	エーテル及び酢酸：やや溶けやすい。水：きわめて溶けにくい。ジエチルエーテル：ほとんど溶けない。	—
引火点	>200℃	—	>100℃
発火点	—	—	—
爆発限界	—	—	—
蒸気圧	—	—	—
揮発性	—	—	—
可燃性	—	—	—
発火性	—	—	—
自己反応性・爆発性	—	—	—
粉じん爆発性	—	—	—
その他	—	—	—

## 10. 安定性及び反応性

化学名	L- $\alpha$ -Phosphatidylcholine	Digitonin	$\alpha$ -Octadecyl- $\omega$ -hydroxy-poly(oxy-1,2-ethanediyl)
反応性	—	—	—
化学的安定性	推奨保管条件下で安定	推奨保管条件下で安定	推奨保管条件下で安定
危険有害反応可能性	推奨保管条件下で安定	—	—
避けるべき条件	火気と高温	高温と直射日光	—
混触危険物質	強酸、強酸化剤	強酸化剤	—
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物、リン酸	二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物、リン酸	二酸化炭素、一酸化炭素

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

### 急性毒性

LD50 = 2,100 mg/kg (ラット) ( $\alpha$ -Octadecyl- $\omega$ -hydroxy-poly(oxy-1,2-ethanediyl))

皮膚腐食性/皮膚刺激性

軽度の皮膚刺激性 (ウサギ) ( $\alpha$ -Octadecyl- $\omega$ -hydroxy-poly(oxy-1,2-ethanediyl))

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

目に重症のおそれ (ウサギ) ( $\alpha$ -Octadecyl- $\omega$ -hydroxy-poly(oxy-1,2-ethanediyl))

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)：データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし。

残留性・分解性 : データなし。

生体蓄積性 : データなし。

土壤中の移動性 : データなし。

PBT および vPvB の評価 : データなし。

結果

内分泌かく乱性 : データなし。

2023年08月17日  
他の有害影響

TNI00921-1 無細胞くん 膜タンパク質合成用添加剤 SetA  
: データなし。

### 13. 廃棄上の注意

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

### 14. 輸送上の注意

危険物輸送に関する国連分類及び国連番号

国連番号	: ADR/RID(陸上規制): - IMDG(海上規制): - IATA-DGR(航空規制): -
国連輸送名	: ADR/RID(陸上規制): - IMDG(海上規制): - IATA-DGR(航空規制): -
輸送危険有害性クラス	: ADR/RID(陸上規制): - IMDG(海上規制): - IATA-DGR(航空規制): -
容器等級	: ADR/RID(陸上規制): - IMDG(海上規制): - IATA-DGR(航空規制): -
環境危険有害性	: ADR/RID(陸上規制): 非該当 IMDG(海上規制): 非該当 IATA-DGR(航空規制): 非該当

### 15. 適用法令

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	
特定化学物質障害予防規則	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
名称等を通知すべき危険物及び有害物	: 非該当
名称等を表示すべき危険物及び有害物	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当

### 16. その他の情報

注) この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、物理及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の実用を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。